

湖畔の風

★ 第31回田瀬ふるさとカルタ取り大会・第13回田瀬太鼓発表会

新春の行事、第31回田瀬ふるさとカルタ取り大会が、1月10日(土)に開催されました。カルタ取り大会参加者は、34名。団体戦は4チーム(小倉A、小倉B、中通、白土)に分かれて総当たり戦を行いました。チームの勝ち数や取ったカルタの枚数、相手の残した枚数などを計算して順位を決定しました。また、個人戦は男女別に表彰しました。

今回工夫したことは、読み上げる言葉が聞き取りにくいと言われていたので、カルタの頭の文字を大きくして見せました。また、膝をつくのが難しい方のために、机にカルタを並べて競技しました。膝や腰が楽にできたと好評でした。

団体成績

- 優勝 (小倉B: 曾我虹心、曾我空由、菅谷公子、佐藤千浩、菅原亀三、小田島功一、菅原講作、曾我吉貴、菅谷孝史)
- 準優勝 (小倉A: 菅谷かのあ、曾我海由、多田歩未、門岡京子、菅谷正孝、太田代信雄、菅谷匠、朝倉大樹)
- 第3位 (白土: 多田涼風、多田千夏、多田小夏、伊藤望結、多田修子、伊藤清吾、菅原政二、多田満仲、菅原勇一)
- 第4位 (中通: 曾我フミ、内館慶子、星悦子、大隅弘子、伊藤武洋、菊池祐光、女鹿志智郎、多田吉廣)

個人成績

男子

- 優勝 菅原 講作
- 準優勝 曾我 吉貴
- 第3位 菅原 勇一

女子

- 優勝 佐藤 千浩
- 準優勝 菅谷 かのあ
- 第3位 多田 小夏



取り札の頭文字を大きく、見やすくしました。



男子個人優勝 菅原講作さん(小倉)

女子個人優勝 佐藤千浩さん(白土)



団体優勝小倉Bチーム代表して曾我虹心(にこ)さんが優勝トロフィーを受け取りました。



カルタ取り大会の成績集計の間に、田瀬太鼓発表会が開催されました。
始めに清流田瀬子ども太鼓の演奏でした。7名の小学生による、元気いっぱいの力強い演奏で聞いている方もたくさんの元気をもらいました。
その後は田瀬激流太鼓の迫力のある演奏に圧倒されました。新年にふさわしい音色でした。



清流田瀬子ども太鼓の演奏
元気な掛け声から、演奏が始まります。



田瀬激流太鼓の演奏
迫力のある演奏が体育館にひびきました。

★ ピザ作り教室

12月21日(日)子ども会のピザ作り教室が開催されました。昨年に続いて2回目となります。今回は、材料を用意するところから、子どもたちにしてもらいました。野菜やベーコンを切ったり、コーンやツナを盛りつけたりしてトッピングの材料を10種類ほど用意しました。低学年もソーセージを切ってみました。みんなでやると楽しいですね。

昨年、経験しているのでピザのトッピングはとてもきれいに、手早くできました。

ピザ窯が出来てから2年目。ピザ窯の使用回数もだいぶ増えて窯の状態も良いようで、あっという間にとろりとチーズが溶けて、生地がパリパリに美味しく焼き上がりました。

みんなでいろんなトッピングピザを試食しました。とても美味しかったです。

ピザの焼き方をしていただいた朝倉戴治さんから、具材の乗せ方は真ん中が盛り上がっていきなくて均等に焼けて良かったと感想をいただきました。



野菜などを切り、トッピングをみんな
で準備しました。10種類以上



焼きたてのピザを試食しました。
おいしかった！

異聞 田瀬の歴史 第44回

《お天王さまについて 第4回》

今回は「お天王さま」の棟札について考えてみます。一般的には寺社や民家の建設にかかる記録が書かれています。今回取り上げる棟札は、お天王さまの信仰にかかわることが記されておりますので、その内容を調べました。

○ 中通りのお天王さまの棟札（写真参照）

さらに、この棟札で分ったことは、白土の「お天王様」は嘉永壬子年6月15日、すなわち嘉永5年(1852)に建てられた神社でした。

因みに、中通の「お天王さま」の棟札には年号の記録が見えませんが、賽銭箱の奉納が嘉永7年(1854)ですので、神社が建てられる前に賽銭箱が奉納されることはありませんから、ほぼ同時期に建てられたと推測されます。

次に棟札に書かれていることを見ます。一応、専門の方のご助言をいただきましたが、いわば素人の見識ですので間違いがありましたらご指導賜りたく存じます。

中央に、

いつきたてまつるつかながねじんじょとこみやとどまりしずめたまわるところ

奉 招 斎 塚長根神社常宮止 鎮 賜 処 と記されております。意味合いは、「お招き申し上げました塚長根神社が永遠に変わらず栄えてお留まりいただくお宮」という意味になりましょうか。後に書きますが白土の「おてんのうさま」の棟札と違いがあります。

塚長根神社をどこから招いたかが重要になります。

この右側には、神前で神職が神と人との仲介役として祭りごとを行うことの言葉、いわゆる祝詞が記されています。すなわち

かけまくも あやにかしこき あらひとがみと あまがしたしらしめす すめらのみことの
掛卷母 文尔畏支 現人神止 天下所知食 皇 命 乃

おおみよを かきわにときわに なりさいわいたまいて よものくにの
大御代遠 堅石尔常石尔 成 幸 賜比豆 四方乃国乃

左側には、

こうみんどもの とが あるおば みなおしききたまいて ことなくもなく
公民共乃 過 在乎婆 見直聞賜比豆 尤事尤喪

よるのまもり ひのまもりに さいわいたまいて ふるく つかえたてまつるに なも
夜 守 日乃守尔 幸 賜閉止 故久 仕 奉尔 奈毛

この文体は、中国で祭事に読まれた祭文を、日本の『古事記』や『万葉集』の言葉を引用して作られたものといわれ、接続詞には万葉仮名が小さく書き込まれています。註①

最初は「掛幕も文に畏き」は、心にかけて思うことも言い表しようもなく恐れ多い、という神職の気持ちを申し述べています。「現人神」とは、この世の中に人の姿をして現れた神という意味で天皇を意味します。以下は、天皇の治める時代の世にお知らせします。堅い石が永遠に存在するように平安をお願いします。

この後は左側になります。「四方国の公民」以下は、冥途の国の人々は、犯した罪咎を反省して、^{つみとが}いることをお聞きくださいまして、昼夜に亘りお守りください。私共は神さまに長くお仕え申し上げます。「奈毛」は奈良時代に使われた上代語といわれ、結びの言葉。当時、伝来した仏教の「南無」とは違います。

典型的な神道の文章ですが、お天王さまについての記載が見当たりません。しかし、社額には「祇園天王社」とあり、ご神体として牛頭天王の像がありますから「お天王さま」の棟札に間違いありません。

註①：学研発行『全訳古語辞典』を参考にしました。

中通お天王さまの棟札



お知らせ！

議会報告会が開催されます。

2月16日(月) 18時より 田瀬振興センター

第1部 議会報告会

第2部 意見交換

各会場共通テーマ 「住み続けたいと思える花巻にするには」について
たくさんのご参加をいただき、ご意見をお聞かせください。



令和7年度 資源ごみ搬送の集計です。

田瀬地区のみなさまには日頃、資源回収についてご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。

資源ごみの集計(前年比)

- ・新聞 2,990 kg (115%) ・段ボール 1,540 kg (75%) ・雑誌 3,103 kg (85%)
- ・牛乳パック 77 kg (79%) ・スチール缶 160 kg (84%)
- ・アルミ缶 588 kg (82%) ・一升びん 38 本 (26%) ・ビールびん 121 本 (130%)



新聞紙がチラシと一緒に縛って出すことが出来るようになったので、増えていますが、その他は全体的に減っています。来年度3回の搬送を予定しておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

田瀬地域資源回収推進協議会

2月の行事予定

- ・スマートフォン教室 2月4日(水) 10:00~
 - ・健康教室 5日・12日・19日・26日 10:00~
 - ・ニュースポーツ交流シャトル大会 2月15日(日)
- 各戸に配布のチラシをご覧ください。
- ・議会報告会 2月16日 18:00~
 - ・各部会 部員の方には連絡しております。

3月の行事予定

都合により変更になることもありますのでご了承ください。

編集後記

令和8年も2月となりました。早いものです。今期は例年に比べて、気温が低く降雪量も多いです。地区の皆さんは、毎日の雪かき等でお疲れと思います。雪かきをする時は、除雪車による事故や、屋根からの落雪、落下事故等にあわないよう十分に注意をお願いいたします。必ず、2人以上で、声かけをしながら行ってください。



田瀬地区の人口 —令和7年12月末現在— (前月比)

行政区	世帯数	人数		
		男	女	計
田瀬第1	66(1)	75(-2)	85	160(-2)
田瀬第2	26	29	28	57
田瀬第3	67	63	78	141
計	159(1)	167(-2)	191	358(-2)

花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています。



すべてのお問い合わせ先

田瀬地域コミュニティ会議 事務局電話 44-5281まで